

平成30年度いばらき成長産業振興協議会 総会次第

日時：平成30年7月18日（水）
14：00～14：30
場所：水戸京成ホテル 2F「瑠璃」

1 開 会

2 挨拶 いばらき成長産業振興協議会会長 宮田 武雄

3 議 事

(1) 議案

第1号報告 平成29年度事業報告

第1号議案 平成30年度事業計画（案）

第2号議案 役員選任（案）

第3号議案 いばらき成長産業振興協議会規約の改正（案）

(2) その他

4 閉 会

【配付物】

- ・平成30年度いばらき成長産業振興協議会総会・交流会 スケジュール
- ・平成30年度いばらき成長産業振興協議会総会 付議議案
 - 第1号報告 平成29年度事業報告
 - 第1号議案 平成30年度事業計画（案）
 - 第2号議案 役員選任（案）
 - 第3号議案 いばらき成長産業振興協議会規約の改正（案）
- ・資料1 出席者名簿（役員・顧問・オブザーバー）
- ・資料2 いばらき成長産業振興協議会の今後の取組と検討課題
- ・資料3 いばらき成長産業振興協議会規約（案）
- ・資料4 会員企業による取組事例の発表について
- ・資料5 特別講演（講師プロフィール及び講演資料）
- ・資料6 交流会 企業展示一覧及び配置図

平成30年度 いばらき成長産業振興協議会 総会・交流会 スケジュール

- 1 日時 平成30年7月18日(水) 14:00~18:15
- 2 場所 水戸京成ホテル(水戸市三の丸1-4-73 TEL:029-226-3111)

3 スケジュール

| 時間 | 内容 | 会場 |
|----------------------|--|--------------|
| 14:00~14:30 (30分) | <p>総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1号報告 平成29年度事業報告 ・第1号議案 平成30年度事業計画(案) ・第2号議案 役員選任(案) ・第3号議案 いばらき成長産業振興協議会規約の改正(案) | 2F 瑠璃 (東) |
| 14:30~15:25 (55分) | <p>会員企業による取組事例の発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代自動車研究会 ・環境・新エネルギー研究会 ・健康・医療機器研究会 ・食品研究会 ・次世代技術研究会 <p>(情報提供:つくば国際戦略総合特区の紹介)</p> | 2F 瑠璃 (東) |
| 15:25~15:40 (15分) | 休憩 | |
| 15:40~17:00 (80分) | <p>特別講演</p> <p>特別講演Ⅰ</p> <p>演題:「変革を迎える自動車産業 ~CASE時代到来~」</p> <p>講師:株式会社日刊工業新聞社 取締役編集局長 四竈 廣幸(しかまひろゆき)氏</p> <p>特別講演Ⅱ</p> <p>演題:「生物工場によるものづくり ~カイコなどを用いた農研機構の取組~」</p> <p>講師:国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門 新産業開拓研究領域 ユニット長 瀬筒 秀樹(せづつひでき)氏</p> | 2F 瑠璃 (東) |
| 17:00~17:15 (15分) | (休憩・移動) | |
| 17:15~18:15 (60分) | <p>交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・歓談 <p>(研究会会員企業の取組み事例を紹介するパネル展示等)</p> | 2F 瑠璃 (西) |

平成30年度いばらき成長産業振興協議会総会 付議議案

第1号報告 平成29年度事業報告

第1号議案 平成30年度事業計画（案）

第2号議案 役員選任（案）

第3号議案 いばらき成長産業振興協議会規約の改正（案）

平成29年度事業報告

平成29年度のいばらき成長産業振興協議会は、会員企業の成長分野への進出や新製品開発等を進めるため、大手企業等との交流の機会や最新の技術に係る講演会等を実施した。また、コーディネータによる企業間の橋渡しや大手企業等への技術提案、競争的資金獲得に係る支援等を行ったほか、原子力関連施設の廃止措置等における中小企業のビジネス参入可能性調査を行った。

この結果、試作品開発や製品化が実現できた件数25件、受注・取引開始につながった件数17件という成果を挙げる事ができた。

なお、平成29年度の事業費は43,957,000円であり、茨城県から株式会社つくば研究支援センターに委託して実施した。

1 平成29年度事業実績総括表

| 事業内容等 | 実績 |
|----------------------------|------|
| ■ 大手企業等との交流（マッチング会、工場見学会等） | 22回 |
| ■ 情報提供（講演会等） | 21回 |
| ■ 会員企業間、研究機関等への橋渡し | 204件 |
| ■ 大手企業等への技術提案 | 117件 |
| ■ 競争的資金獲得件数 | 13件 |
| ■ 試作・製品化 | 25件 |
| ■ 受注・取引開始 | 17件 |

2 平成 29 年度における各研究会等の主な取組内容

(1) 次世代技術研究会

【実績・成果】

| 項目 | 回数等 | 主な内容 |
|-------------------|-----|--|
| ■大手企業等との交流 | 1 回 | ・日産いわき工場見学会 |
| ■情報提供 | 3 回 | ・AI セミナー「中小企業にとっての人工知能とは、その可能性について」 ・IoT ワークショップ「経営者・管理者のための IoT ワークショップ」 |
| ■会員企業間，研究機関等への橋渡し | 4 件 | ・IoT による生産システムの見える化 ・AI による生産ノウハウの定式化 |
| ■大手企業等への技術提案 | 2 件 | ・IoT による生産システムの見える化 ・AI による生産ノウハウの定式化 |
| ■受注・取引開始 | 3 件 | |

【備考】

- IoT や AI などの次世代技術に対する理解を深めるため，体験型ワークショップを開催。
- 茨城県 IoT 推進ラボの取り組みに参画し，大学や金融機関，産業支援機関，各種団体等との連携により，本件における IoT 等次世代技術の導入促進をサポート。

(2) 次世代自動車研究会

<実績・成果>

| 項目 | 回数等 | 主な内容 |
|-------------------|------|--|
| ■大手企業等との交流 | 3 回 | ・茨城大工学部研究室訪問交流会 ・IoT 実践企業見学会 |
| ■情報提供 | 5 回 | ・外観検査自動化勉強会 ・超小型モビリティ開発事例講演会 |
| ■会員企業間，研究機関等への橋渡し | 46 件 | ・組み込みソフト外注について ・アルミダイカスト関連の評価法について |
| ■大手企業等への技術提案 | 19 件 | ・市販車両の実験用改造に係る提案 ・建設機械用のピストン部品に係る提案 |
| ■受注・取引開始 | 6 件 | |

<備考>

- JETRO「地域間交流支援事業（RIT 事業）」や関東経済産業局「地域中核企業創出・支援事業」（広域関東圏水素・燃料電池ネットワーク形成事業）と連携し，国内外の企業マッチングを実施。
- マッチングサイト「Linkers」を活用し，ピックアップした案件の橋渡しを実施。

(3) 環境・新エネルギー研究会

<実績・成果>

| 項目 | 回数等 | 主な内容 |
|-------------------|------|---------------------------------------|
| ■大手企業等との交流 | 4 回 | ・リサイクル工場見学会 ・2018 年環境・新エネルギー技術展示会 |
| ■情報提供 | 6 回 | ・小型風力研究部会 ・セルロースナノファイバー講演会 |
| ■会員企業間，研究機関等への橋渡し | 37 件 | ・砂場の洗浄のための機器につきプレゼン ・リサイクル鉄材料の品質相談 |
| ■大手企業等への技術提案 | 19 件 | ・機械加工冷却溶媒にマイクロバブル水を提案 |

| | | |
|----------|----|---------------------|
| | | ・重油削減のため木質チップボイラを提案 |
| ■受注・取引開始 | 6件 | |

<備考>

- 6つの部会を設け、テーマ・目的に応じたきめ細やかな支援活動を展開

| ビジネス部会 | 研究部会 |
|------------------|------------------|
| 風力発電メンテナンスビジネス部会 | ファインバブル研究部会 |
| 再生可能エネルギービジネス部会 | 小型風力研究部会 |
| リサイクルビジネス部会 | セルロースナノファイバー研究部会 |

- 2018年環境・新エネルギー技術展示会において、県内外の企業への技術力PRと、会員企業の相互取引に結び付けるマッチングを実施。

(4) 健康・医療機器研究会

<実績・成果>

| 項目 | 回数等 | 主な内容 |
|-------------------|-----|--|
| ■大手企業等との交流 | 4回 | ・県立医療大学等ニーズ発表会 ・つくば医工連携フォーラム |
| ■情報提供 | 2回 | ・大学等と連携した機器開発事例に係る講演会 ・海外支援に係る講演会 |
| ■会員企業間、研究機関等への橋渡し | 13件 | ・開発機器の改良に係る企業間橋渡し ・開発機器のデモに係る協力依頼 |
| ■大手企業等への技術提案 | 37件 | ・洗浄用ディスポーザブル紙コップの提案 ・布製胎盤モデルの提案 |
| ■競争的資金の獲得 | 11件 | ・深部静脈血栓予防のための床上下肢運動器 ・高齢者が一人でできる認知機能検査・訓練機器 |
| ■試作・製品化 | 11件 | ・ごくリープ（食事介助・嚥下機能訓練スプーン） ・乳がん検診用電動チェア |

<備考>

- 県立医療大学と連携した機器開発を進めており、同大のニーズと企業をマッチングするニーズ発表会を開催するとともに、医工連携開発会議を開催し、開発案件をフォロー。
- グローバルニッチトップ企業育成促進事業と連携し、会員企業の新製品開発を支援。
- つくば医工連携フォーラム（事務局：筑波大）において、筑波大附属病院のニーズと企業のマッチングを実施。

(5) 食品研究会

【実績・成果】

| 項目 | 回数等 | 主な内容 |
|-------------------|------|--|
| ■大手企業等との交流 | 3回 | ・食品ペースト&ピュール製品マッチング会 ・茨城大学農学部研究室訪問交流会 |
| ■情報提供 | 2回 | ・食品産業における品質管理と農商工連携に関するセミナー ・食品加工機械事例紹介 |
| ■会員企業間、研究機関等への橋渡し | 104件 | ・食品・加工機械洗浄用装置の導入について ・発酵製品開発支援について |
| ■大手企業等への技術提案 | 40件 | ・加工した農産物による製品開発の提案 ・食品加工機械を用いた製品開発の提案 |
| ■競争的資金の獲得 | 2件 | ・ヨーグルトの販路拡大事業 |

| | | |
|----------|-----|-------------------------------|
| | | ・産業用洗浄システムの製品開発 |
| ■試作・製品化 | 14件 | ・米ゲル入りアイスクリーム ・干し芋粉入りかりんとう |
| ■受注・取引開始 | 2件 | |

【備考】

- フレンチレストランにおいて、期間限定で糸引きの少ない納豆「豆乃香」フルコースのメニュー化を実施。
- ヨーロッパに輸出支援拡大駐在員を配置し、会員企業が開発した加工食品等について、現地のマーケット情報の収集・解析及び個別商談の側面支援を実施。

(6) 分野横断的な取組

【実施内容】

| 項目 | 回数等 | 主な内容 |
|------------|-----|---|
| ■大手企業等との交流 | 7回 | ・研究開発支援企業展示会 ・2017 筑波銀行ビジネス交流商談会 ・しんきんビジネスフェア 2017 ・めぶき FG ものづくり企業フォーラム 2018 |
| ■情報提供 | 3回 | ・第1回 デジタルものづくり研究会 ・第2回 デジタルものづくり研究会 ・第3回 デジタルものづくり研究会 |

(7) 新規分野参入戦略策定調査

原子力施設の廃止措置等に関する中小企業のビジネス参入可能性調査を実施し、概ね以下のような結論を得た。

- ・廃炉事業に興味を示す企業は、参入や受注のための情報提供を希望している。
- ・廃止措置に求められる技術は、系統除染・放射線量調査・設備の維持管理等。また、クレーン運転士の資格や放射線労働安全衛生管理等の対策も必要になる。
- ・先行事例となる福井県では、廃炉に係る発注者等から多くの説明会が開催されており、地元中小企業の参入に向けた支援が行われている。
- ・中小企業単独では発注情報や必要な技術動向の把握が困難であり、県や産業支援機関の支援が必要と思われる。

【参考】 いばらき成長産業振興協議会事業実績（累計、H22～H29）

| 事業内容等 | 実績 |
|---------------------------|------|
| ■大手企業等との交流（マッチング会、工場見学会等） | 141回 |
| ■情報提供（講演会等） | 178回 |
| ■会員企業間、研究機関等への橋渡し | 677件 |
| ■大手企業等への技術提案 | 971件 |
| ■競争的資金獲得件数 | 101件 |
| ■試作・製品化 | 103件 |
| ■受注・取引開始 | 92件 |

平成30年度事業計画（案）

1 事業方針

- ・ 受注・販路開拓・新製品開発につながるようなマッチング・開発支援などを重視し、商談会・工場見学会等の交流機会を提供
- ・ 会員のニーズや最新の技術・市場動向を踏まえた情報提供・勉強会・セミナーの実施
- ・ 各研究会を横断した勉強会等の開催による異分野との交流・情報共有
- ・ 年間を通じ、コーディネータ等による会員企業間や研究者等との橋渡しなどのきめ細やかな支援を行うとともに、コーディネータ間で情報を共有し、企業間の結びつきを強化
- ・ 産学官金がタッグを組んだ、ビジネスにつながる事業展開の推進

2 各分野ごとの主な取組内容

(1) 次世代技術研究会

- ・ I o T, ロボット, A I をテーマとした生産性向上等に有益な情報提供を行う。
- ・ システムインテグレーターの育成, システムインテグレーターとものづくり・サービス関連中小企業とのマッチングを促進する。
- ・ 茨城県版 I o T 推進ラボ, 産業技術イノベーションセンターが実施する I o T ・ ロボット研究会等と連携し, 効率的な支援を行う。
- ・ I T, I o T, A I 技術を活用した生産性向上, 技術開発にあたっての産学官連携体制構築に取り組む。
- ・ 中小企業の I o T 等の導入を支援する「中小企業 I o T 等自動化技術導入促進事業（茨城県）」や平成28年度に国（経済産業省）の選定を受けた「茨城県 I o T 推進ラボ」の取り組みと連携し, 県内中小企業の競争力強化を図る。

(2) 次世代自動車研究会

- ・ 大手自動車メーカーが描く未来社会像に関する情報提供や外観検査の自動化, 省力化や金属接合技術等, 多くの企業が抱える共通課題の解決に向けた技術セミナー等を開催する。
- ・ 会員企業による新たな受注獲得を支援するため, 大手自動車メーカーや部品メーカーの工場見学を実施するほか, これらの企業に対する技術提案を実施する。
- ・ ニーズの高い開発テーマについては, 複数企業と大学等が連携した「産学連携グループ」を立ち上げ, 経営資源の補完による効率的な開発に取り組む。

(3) 環境・新エネルギー研究会

- ・ 6つの部会について, 引き続きテーマ・目的に応じたきめ細かな支援活動を展開する。省エネ・節電やバイオマスといった, 環境分野の最新動向などへも幅広に対応していく。
- ・ 部会活動を通じた会員企業間の技術連携の構築を積極的に支援するとともに, 県内外企業との取引に繋がるよう, 会員企業の保有技術・製品の積極的な販路拡大支援に取り組む。

- ・ 大手風力発電機器メーカーのニーズを的確に把握し、新たなメーカー等から、会員企業への受注に繋げるよう支援する。また、必要に応じて、産学官連携体制による技術の高度化を図る。
- ・ 風力発電メンテナンスにおいては、今後、鹿島港における洋上風力発電施設の設置も計画されており、より需要が期待される「風力発電の保守・メンテナンス」分野への参入に備える。

(4) 健康・医療機器研究会

- ・ 医療・介護の現場におけるニーズの把握と会員企業のシーズのマッチングを一層推進することとし、医療大との連携を継続しつつ、大学・病院からのニーズの掘り起こし・マッチングなどを実施し、製品化に結びつくような活動を強化する。
- ・ 工場見学会などを通じて企業間との連携を図ることで、会員企業の機器開発を支援する。
- ・ 引き続き GNT 事業と連携し、機器開発に係る支援を充実させ、開発の方向性や販路のあり方等につきフォローしていく。
- ・ 各機関の医療・介護分野における開発支援メニュー等に係る情報提供を行うとともに、大学等と連携する際の特許・知的財産のあり方などに係るセミナーを開催し、会員企業の機器開発を支援する。

(5) 食品研究会

- ・ 食品加工機械の開発や新たな技術の導入に関するセミナーを開催し、会員企業による商品の品質や生産性の向上につなげる。
- ・ 「素材」「機械」「製品化」「研究開発」「OEM」「販路開拓」等、食品に関する多種多様な出会い（マッチング）の場を提供するプラットフォームを立ち上げ、会員企業が抱える様々な課題を企業間連携により解決する。
- ・ 加工機・自動機械の開発や新商品開発について、企業間連携や大学・研究機関、金融機関との連携を促進するとともに、競争的資金の獲得支援を行うなど、会員企業の技術力の向上を図る。

(6) その他

- ・ 新規ビジネス分野への参入の機会を提供するため、今後需要が見込まれる原子力関連施設の解体等につき、施設の見学会や廃炉の現状等に係る情報提供などを行う。また、日本原子力研究開発機構等へのヒアリングなどを通じ、技術的な課題やニーズなどに関する情報を収集し、県内企業の技術シーズを提案する。
- ・ 県内の金融機関等が開催するビジネス商談会や展示会等につき、会員企業の参加・出展等の促進を図る。

平成30年度 いばらき成長産業振興協議会 役員選任（案）

| 区分 | 団体名 | 職名 | 氏名 | 担当研究会 | 備考 |
|---------|---------------------------|---------------------------------------|--------|-----------|----|
| 1 会長 | 茨城県立産業技術短期大学校 | 学校長 | 宮田 武雄 | | |
| 2 副会長 | (株)日立製作所 電力ビジネスユニット 日立事業所 | 副事業所長 | 菅根 徹 | | 新任 |
| 3 副会長 | (株)三友製作所 | 代表取締役 | 加藤木 克也 | | |
| 4 副会長 | 茨城県 産業戦略部 | 部長 | 小泉 元伸 | | 新任 |
| 5 運営委員 | (株)宮本製作所 | 代表取締役社長 | 宮本 隆 | 次世代自動車 | |
| 6 運営委員 | (株)協立製作所 | 代表取締役 | 高橋 日出男 | 次世代自動車 | |
| 7 運営委員 | 北進産業(株) | 代表取締役会長 | 北島 富佐雄 | 環境・新エネルギー | |
| 8 運営委員 | (株)宮本製作所 | 代表取締役 | 宮本 洋治 | 環境・新エネルギー | |
| 9 運営委員 | (株)エムテック | 代表取締役 | 松木 徹 | 健康・医療機器 | |
| 10 運営委員 | (株)サンテクノ | 代表取締役社長 | 西村 真理子 | 健康・医療機器 | 新任 |
| 11 運営委員 | 桔梗屋本舗 | 代表 | 面澤 義昌 | 食品 | |
| 12 運営委員 | だるま食品(株) | 代表取締役 | 高野 正巳 | 食品 | 新任 |
| 13 運営委員 | ペンギンシステム(株) | 代表取締役社長 | 仁衡 琢磨 | 次世代技術 | |
| 14 運営委員 | (株)ユードム | 代表取締役会長 | 皆川 藤孝 | 次世代技術 | 新任 |
| 15 運営委員 | 茨城大学 | 研究・産学官連携機構 副機構長 | 金野 満 | 次世代自動車 | |
| 16 運営委員 | 産業技術総合研究所 | イノベーション推進本部 地域連携推進部 関東地域 連携室 室長 | 川村 栄浩 | 環境・新エネルギー | |
| 17 運営委員 | 筑波大学 | 国際産学連携本部 技術移転マネージャー | 和氣 泉 | 健康・医療機器 | 新任 |
| 18 運営委員 | 農業・食品産業技術総合研究機構 | 食品研究部門 食品加工流通研究領域長 | 門間 美千子 | 食品 | |
| 19 運営委員 | 産業技術総合研究所 | イノベーション推進本部イ ノベーションコーディネー タ | 佐脇 政孝 | 次世代技術 | |

※会長1名 副会長3名 運営委員15名（各研究会3名）

いばらき成長産業振興協議会規約の改正（案）

1 いばらき成長産業振興協議会規約の改正について

| 新 | 旧 |
|--|--|
| 第1条～第4条 略 (入会及び退会) | (入会及び退会) |
| 第5条 1～2 略 <u>3 会員が解散し、又は破産したときは、退会したものとみなす。</u> | 第5条 1～2 略 (新設) |
| 第6条～第9条 略 (研究会) | (研究会) |
| 第10条 協議会に、分野別に具体的な研究を進めるため、研究会を <u>5程度</u> 置く。 | 第10条 協議会に、分野別に具体的な研究を進めるため、研究会を <u>4程度</u> 置く。 |
| 第11条～第13条 略 (事務局) | (事務局) |
| 第14条 協議会の事務局は、茨城県産業戦略部技術振興局技術革新課内に置く。 | 第14条 協議会の事務局は、茨城県商工労働観光部産業政策課内に置く。 |
| 第15条 略 | |

2 改正の趣旨

規約第5条の入会及び退会の定めについては、会員として登録されている中に既に解散又は破産した企業もあることから、会員数を正確に把握するため、当該企業を退会したものとみなす規定を新設する。

規約第10条の研究会の定めについては、現在運営している研究会数にあわせ、「5程度」と文言を改めることとする。

規約第14条の事務局の定めについては、茨城県の組織改編により担当課が変更となったことから文言を改めることとする。